

日常から考える平和

一宮市立浅井中学校

三年

佐藤

悠衣

私は「平和」という言葉を聞くと、まずは

戦争などの人々の争いが無い世界を思い浮か

べます。これまでは、平和について深く考え

る機会はありません、毎日学校へ行き、家に

帰って家族とご飯を食べたりする生活が当た

り前でした。しかし、ニュースではアメリカ

やイスラエルとイランをめぐる軍事的な衝突

が報じられているのを見て、現在も平和は決

して当たり前前では無いと感じました。争いは

自分には程遠い出来事だと思っ、ていましたか

中東情勢の悪化により石油由来の印刷インク

や溶剤の入手困難のおそれの影響でポテト千

ッポスなどのお菓子のパッケージが目黒の2

色にな、たことを知りました。そのとき、世

界で起きている争いは他国だけの問題ではな

く、私たちの日常生活とつながっていること

を初めて実感しました。普段何気なく使った

り食べたりにしているものにも、世界の情勢が

影響していることを知り、戦争や争いについて
関心を持つことの大切さを感じました。こ
の出来事から、世界で起きている争いを知っ
ておくことは、平和について考えるために必
要なことだと思いました。以前の私は、戦争
というものを歴史の中の出来事や、遠い国で
起きているものとして捉えていました。しか
し、今回のニュースや身近な変化を通して、
世界で起きている出来事は必ずしも自分と無
関係なわけではないと気付きました。毎日の
暮らしにも、世界とのつながりがあり、その
背景には多くの人々の生活が関わっているこ
とを意識するようになりました。また、平和
を守るためには、争いが起きてから考えるの
ではなく、日頃から周りの人を大切にし、違
いを認め合う姿勢を持つことが重要であると
思います。一人一人の行動が、平和な社会を
つくる力になるのだと感じています。平和に
ついて考える中で、平和とはただ戦争がない
状態ではなく、誰もが安心して生活できる環

境を守ることもだと考えました。これから先、
意見や考え方の違う人と関わる中でも、相手
の立場を想像し、理解しようとする気持ちを
大切にしたいです。さらに、日々の生活で、
周りの人への思いやりや感謝の気持ちを忘れ
ず行動することは平和につながることもある
と思います。私一人にできることは小さいか
もしれませんが、世界で起きている出来事を
自分とは関係のないものとして終わらせず、
これから平和について考え続けることか
よ
す。
り
良
い
未
来
に
つ
な
が
る
第
一
歩
に
な
る
と
思
い
ま